

す。一方、ウポポイ周辺の白老地区では予想以上の盛り上がりが見られますが、それ以外、社台、竹浦、虎杖浜などはお年寄りや子どもが気軽にに行ける状況ではありません。全町的な一体感を感じられない動きがほしいです。町民が参加活動しやすい環境づくりを、と考えます。あと、白老の魅力を伝える巨大看板やモニメントなどを引くアピールがあればいいですね。

笠井専務理事

コロナ禍はトレーニング期間

コロナ禍の中で、思い通りいかずとも、歩みを止めることなく、臨機応変に営業を続けている商業関係者の方々を見て大変勇気をいただいています。ウポポイもさまざまなことに対しとても良い準備期間、トレーニング期間となったのではないと思います。来場者の建物、スタッフへの反応でまた新たな取り組みが生まれる機会だったのではないのでしょうか。

これから

戸田町長

地元アイヌ文化の伝承が大切

地元白老のアイヌ文化を大切に、商品開発や人材育成を図っていく考えです。町のアイヌ施策の基本方針の見直しにも着手したいと考えています。間もなくポロト湖畔に建設中の星野リゾートさんのホテルもオープンするでしょう。ウポポイを核としてアイヌ文化の理解を深めるとともに、町の観光の起爆剤にしたい考えは変わりません。

神戸道議

アイヌ新法の目的実現へ

アイヌ新法の目的である「互いに尊重し合いながら共生する社会の実現」は、白老町が掲げる「多文化共生のまちづくり」に通じます。今後アイヌの方々はじめ、町民の方々の意見をしっかりと伺ってまいりたい。国、道と連携した誘客、地元のおもてなしで、町の活性化につなげていきたいと考えています。

岡田副理事長

文化の検証でまちの元気を

アイヌ文化ばかりが白老の文化ではありません。白老にはさまざまな文化があります。アイヌ文化と和人の文化の検証をし直すことができてこそ、ウポポイが白老に開設した意義があると思います。仙台陣屋や虎杖浜の文化など、多くの文化が共存し共生できるまちづくりによって、文化の薫る白老町、町全体の元気になるのではないのでしょうか。

福澤副会長

アイヌ文化を世界に発信

岡田さんの話のように、各地区で文化が違います。木彫りや刺しゅうなどさまざまな所で独自の文化をアピールしては、と思います。また、ウポポイを拠点に他市町村とアイヌ文化の交流を深めながら世界に発信するのが最終目標かなと考えています。

笠井専務理事

ウポポイ、白老が窓口

ウポポイが学びの好奇心をくす

ぐる拠点であってほしい。そして全道のアイヌ文化の入り口になり、白老が各地の窓口になってほしいですね。また、言語は文化の大切な要素と考えますので、ウポポイの人とアイヌ語でコミュニケーションが取れるなど、その環境づくりがあればいいと思います。若い世代へのアイヌ教育は必ず必要であるか、ということよりも、この町に住んでいる私たちは、自分たちがどういう所に住んでいるのか、どういう歴史があるのかは、必ず知っておく必要があると思います。

◆ ◆ ◆
皆さん多忙の中、お集まりくださりありがとうございます。それぞれの立場からご意見を伺いましたが、アイヌ文化の復興拠点としてのウポポイは今後どうあるべきか、どうしたらウポポイを活用したまちづくりにつながるかーとの思いが一樣に伝わりました。白老にウポポイがある限り、アイヌ文化が根付いている限り、新しい年も町民一人一人が考えていかなければならないことだと思えました。(竹)

